

2019年 4月12日

機器測定<画像解析>による高性能形態安定の数値化
より確かな測定で形態安定シャツ生地の品質を保証します

機器測定<画像解析>を活用し、本当に必要な「価値」を正しく伝える

日清紡テキスタイル株式会社は、一般財団法人ボーケン品質評価機構と東京家政大学 森教授の三者で共同研究した【繊維製品の形態安定性能を評価する方法および装置】の活用により、生地^①の形態安定性能を数値化することに成功しました。

形態安定性能は、「形態安定シャツ」の優劣をアピールする上で重要な役割を果たしてきましたが、昨今、生地加工技術が進歩し、より高い形態安定性能を謳うシャツが普及するなかで、消費者に生地部分の防シワ性能差を正しく伝えることが難しくなっています。

当社は、新しい機器測定方法により、自社基準を設け、高性能な形態安定シャツ生地を管理するとともに、消費者の皆様にご商品価値が正しく伝わるよう努めてまいります。

■ これからの測定方法 = 機器測定(画像解析)による“シワカット指数”

この新しい測定法は、これまでの目視による判定ではなく、あくまで機器による客観的な判定であり評価もわかりにくい等級ではなく1ポイント刻みの「シワカット指数」というわかりやすい数値で表しています。

指定スキャナーを使用して、洗濯前／洗濯後の生地をスキャンし、それぞれ

●均一性(全体的なシワ) ●濃淡差(シワの深さ) ●情報量(シワの量) ●線状性(シワのシャープさ)

の4項目に画像解析・データ化し変換式に当てはめることで、

洗濯前後のシワの変化のみを評価したシワカット指数を算出します。



(特許出願中：特開2017-150822)

